

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 在心会

特別養護老人ホーム サンライズ長良 (ユニット型)

特別養護老人ホーム サンライズ長良 (地域密着型)

サンライズ長良 ショートステイ

サンライズ温泉 恵の湯の販売事業

社会福祉法人 在心会 事業報告

- 1 基本理念 『誰もが住みたい、第2のマイホーム』
- 2 資産の総額 1,749,404,458円(令和3年3月31日現在)
- 3 理事会の開催状況
 第1回理事会 令和2年 5月21日(木)
 第2回理事会 令和3年 3月 5日(金)(書面表決)
 第3回理事会 令和3年 3月27日(土)
- 4 評議員会の開催状況
 第1回評議員会 令和2年 6月20日(土)
- 5 法人役員・評議員の現員数
 理事：7人 監事：2人 任期：令和元年6月22日～令和3年度定時評議員会まで
 評議員：9人 任期：平成29年4月1日～令和3年度定時評議員会まで

6 職員の体制 (令和3年3月31日現在)

<特別養護老人ホーム(ユニット・地域密着)・ショートステイ> ()は昨年度末

職区分	現員(人)	備考	職区分	現員(人)	備考
施設長	1		看護職員	8(8)	パート2人(2)
事務員	2		管理栄養士	1(1)	
生活相談員	2(2)	社会福祉主事	介護支援専門員	2(2)	兼務(2)
介護職員	53(53)	パート12人(12)	医師	2	嘱託
機能回復訓練員	5(5)	パート1人(1)	宿直・清掃	7(7)	
調理員	15(17)	業務委託			

育休中の職員は除く

<その他>

- 介護職員の平均勤続年数：8年7ヶ月(パートを除く) <6年10ヶ月>
- 介護職員の平均年齢：48.3歳(パートを除く) <45.7歳>
- 介護福祉士の総数：29人(内パート5人) <25人>
- 育児休業中の介護職員 常勤2人<5人>
- 外国人技能実習生(インドネシア) 4人

< >は昨年度

特別養護老人ホームサンライズ長良 事業報告 (ユニット型)

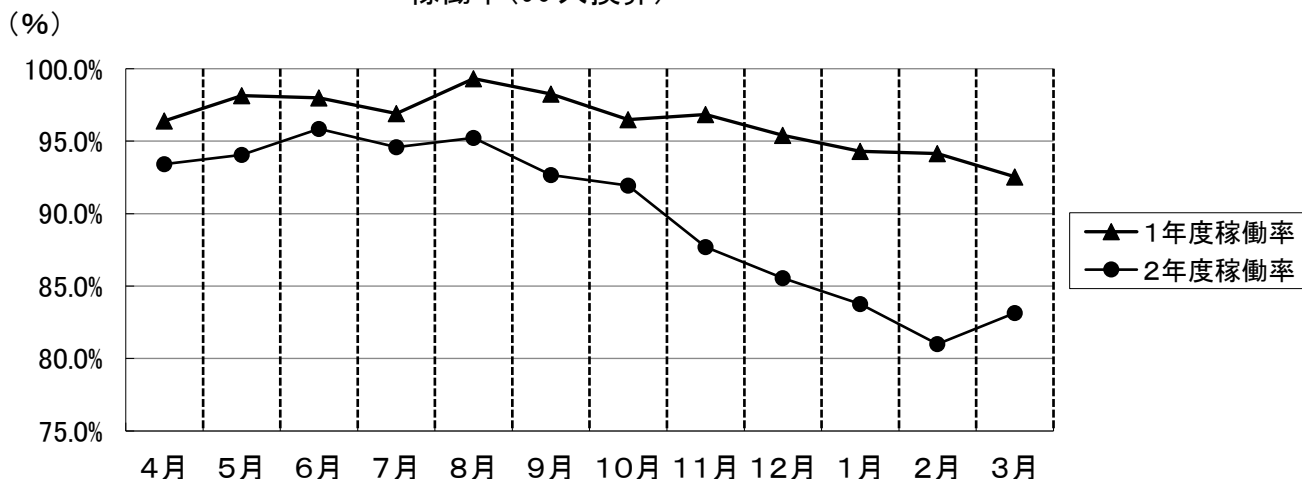
1 入居の状況

	入居者数 (人)			満床人数 (人)	空床数 (人)	延人数 (人)	90人 充足率 (%)	110人 充足率 (%)
	男性	女性	合計					
4月	17	68	85	2,700	178	2,338	86.6	70.8
5月	18	68	86	2,790	166	2,493	89.4	73.1
6月	19	67	86	2,700	112	2,468	91.4	74.8
7月	19	65	84	2,790	151	2,487	89.1	72.9
8月	21	64	85	2,790	133	2,522	90.4	74.0
9月	19	64	83	2,700	198	2,449	90.7	74.2
10月	18	64	82	2,790	225	2,484	89.0	72.8
11月	18	59	77	2,700	332	2,281	84.5	69.1
12月	18	59	77	2,790	403	2,323	83.3	68.1
1月	16	59	75	2,790	453	2,212	79.3	64.9
2月	15	61	76	2,610	496	1,994	76.4	64.7
3月	14	59	73	2,790	470	2,176	78.0	63.8
合計	212	757	969	32,940	③3,317	28,227	—	—
平均	17.7	63.1	80.8	—	276/月	2,357/月	①85.7	②70.3
R1年度	15.9	70.3	86.3	32,940	1,186	30,444	92.4	75.6

- ・ 入居者数は、月末日のものです。
- ・ 空床数は、退居日から次の入居日まで空きベッドが発生したものです。
- ・ 延人数は、入院・外泊等の人数を差引いたもので、充足率は当月に満床であった場合に対するものです。(90人で算出)

90人の受入れで算出しております。その場合の充足率は、^①85.7%となって大きく減少しました。届出定員110人では、^②70.3%と大変低くなっております。新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものか、入居申込の動きも見られず、年度末時点で73人しか入居者がいない状況で、空床数が^③3,317人分(R1は1,186人)と増加しております。入居者数は、介護報酬収入に影響を与えるため入居者の確保は重要課題として考えていかななくてはならない。

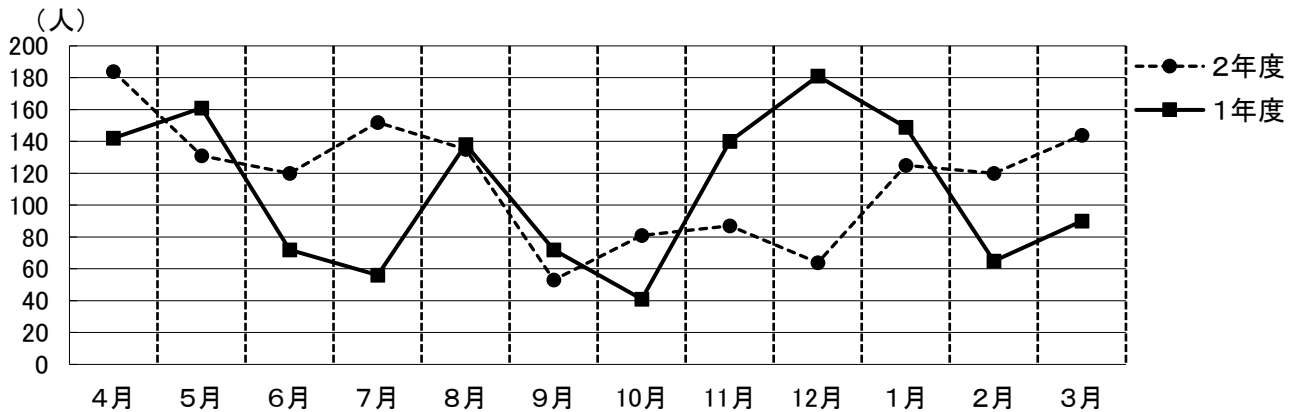
稼働率(90人換算)



2 入院の状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	184	131	120	152	135	53	81	87	64	125	120	144	1,396
対象数	9	5	8	11	9	4	8	6	4	5	8	10	—
R1 年度	142	161	72	56	138	72	41	140	181	149	65	90	1,307



- ・ 入院者の平均入院日数は、25.4日間でした。(最高111日間)
令和1年度は、平均入院日数27.5日間(最高104日間)
- ・ 年間を通じた55人の対象者の内11人が、1か月半以上の長期入院者、21人は、誤嚥性肺炎、胸水貯留など肺に関する病気により入院となっていた。他にも転倒により骨折の例が5人ありました。

3 入退居の状況

(人)

状況	入居				退居				
	在宅	SS	他施設 ※1	医療機関	在宅	地域密着	他施設 ※1	入院 ※2	死亡 ※3
小計	5	3	3	6	0	0	2	6	20
合計	17				28				
R1 年度	33				33				

※1 特養、グループホーム、老人保健施設など介護保険の施設。

※2 入院時の身体状況により家族から退居の申出によるもの。入院期間3ヶ月経過による退居の方。

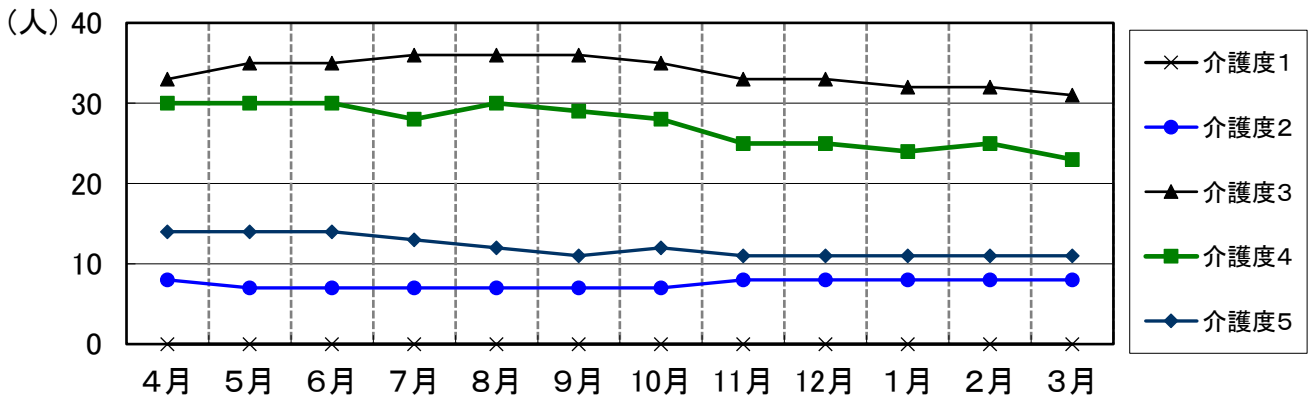
※3 入院中に医療機関で死亡された方。

- ・ 在宅からの方は、デイサービスなどを利用しながら在宅生活されていましたが、コロナの影響からデイサービスの利用が減ったことで、介護者の負担が増えて在宅生活が困難となり入居に至った。この中で、介護度2の方が2人あり、ケアマネ、地域包括支援等と連携し特例的入居を行った。
- ・ 平均の在居期間が3年3ヶ月となりました。(R1年度3年2ヶ月)。
- ・ 体調が急変して、亡くなる方が増加しました。

4 入居者の介護度

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度2	8	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	7.5
介護度3	33	35	35	36	36	36	35	33	33	32	32	31	33.9
介護度4	30	30	30	28	30	29	28	25	25	24	25	23	27.3
介護度5	14	14	14	13	12	11	12	11	11	11	11	11	12.1
平均介護度	3.59	3.59	3.59	3.56	3.55	3.53	3.55	3.51	3.51	3.51	3.51	3.51	3.54
R1年度平均	3.58	3.52	3.53	3.54	3.58	3.57	3.58	3.55	3.56	3.63	3.64	3.58	3.57



H30年度の特養入居者の全国平均介護度 3.94

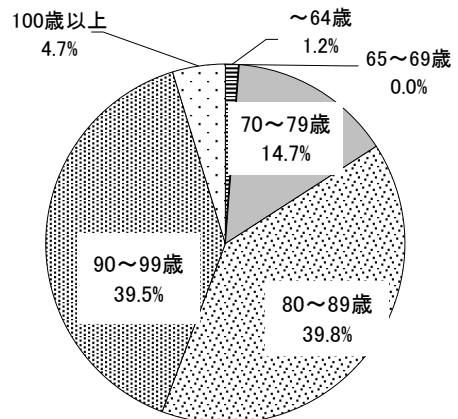
5 入居者の年齢構成

(人)

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・割合
～64	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0 1.2%
65～69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0 0.0%
70～79	12	12	13	13	13	13	13	11	11	11	10	10	11.8 14.7%
80～89	36	35	35	34	36	34	30	30	30	29	29	28	32.2 39.8%
90～99	34	36	34	33	32	31	33	30	30	29	31	30	31.9 39.5%
100～	2	2	3	3	3	4	5	5	5	5	5	4	3.8 4.7%
平均年齢	85.0	86.0	86.0	84.0	85.0	83.0	82.0	77.0	77.0	75.0	76.0	73.0	87.7

- 入居者の平均年齢は87.7歳でした。
(R1年度86.3歳)
- 年齢構成に大きな変化はありませんでした。
- 最高齢は103歳1人、102歳1人、100歳2人です。
- 退居者の平均年齢は、88.8歳でした。

(R1年度87.2歳)

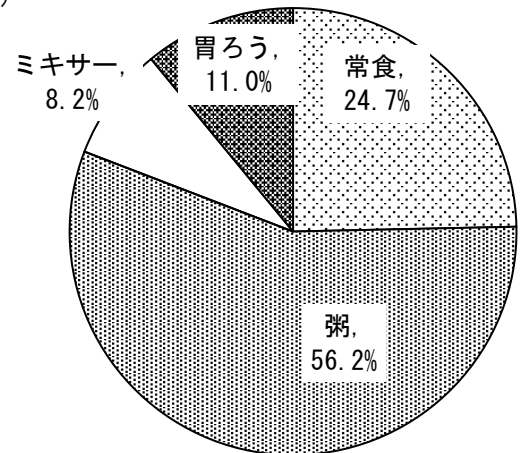


6 入居者のADLグラフ（令和3年3月31日現在）

令和2年度の対象者は73人（令和元年度は84人）

① 食事形態 主食

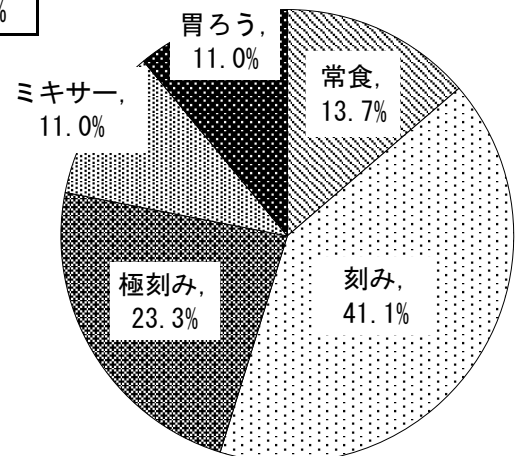
形態	常食	粥（半粥）	ミキサー	胃ろう
1年度	26人 31.0%	46人 54.8%	3人 3.6%	9人 10.7%
2年度	18人 24.7%	41人 56.2%	6人 8.2%	8人 11.0%



食事形態 主食

副食

形態	常食	刻み	極刻み	ミキサー	胃ろう
1年度	15人 17.9%	39人 46.4%	14人 16.7%	7人 8.3%	9人 10.7%
2年度	10人 13.7%	30人 41.1%	17人 23.3%	8人 11.0%	8人 11.0%



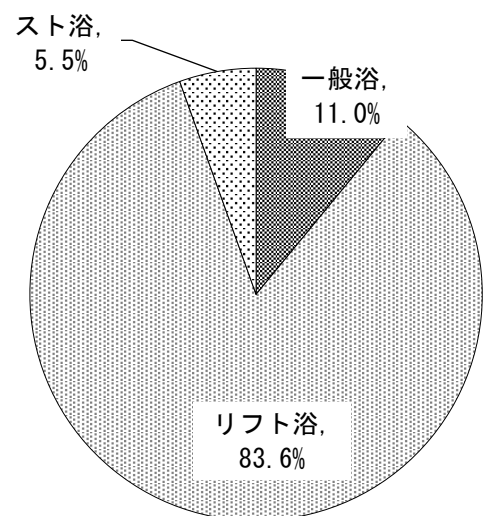
食事形態 副食

介護度の変化がないにもかかわらず、食事形態の低下が確認できました。誤嚥性肺炎等になるリスクを考慮して、安全面を優先してきた傾向と考えます。しかし、食べる楽しみ、喜びも考慮していかなくてはならないと考えます。

嚥下能力等を確認しながら入居者本位の食事提供を行っていただけるよう努めていきたいです。

② 入浴の状況

	一般浴	リフト浴	スト浴
1年度	15人 17.9%	67人 79.8%	2人 2.4%
2年度	8人 11.0%	61人 83.6%	4人 5.5%



入浴の状況

入浴は1週間に2回で実施しております。

一般浴で入浴される方の割合が減少している。

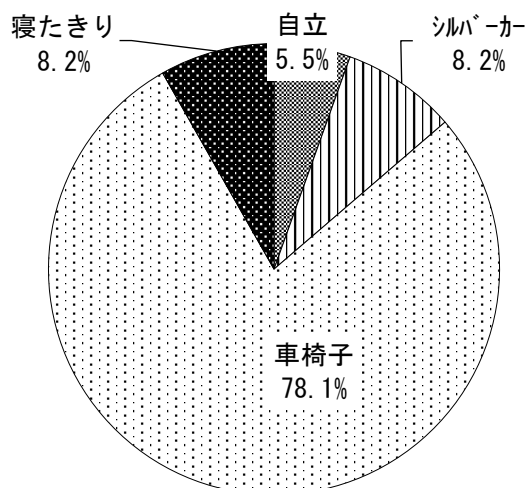
各階の浴室へは、サンライズ温泉 恵の湯の温泉水を引水してあるので、食事と同様に施設に居ながらで温泉に入っただけの喜びを実感して頂ければと考えます。

③ 移動（歩行）の状態

大きな変化は見られません。自立・シルバーカーの方の転倒リスクに気を付けていくことが重要です。

車椅子57人の内、移動に際して41人は自分で車椅子を動かすことが出来ますが、16人は介助の必要な方でした。

内訳	自立	シルバーカー	車椅子	寝たきり
1年度	7人 8.3%	9人 10.7%	64人 76.2%	4人 4.8%
2年度	4人 5.5%	6人 8.2%	57人 78.1%	6人 8.2%



移動(歩行)の状態

④ おむつ使用状況

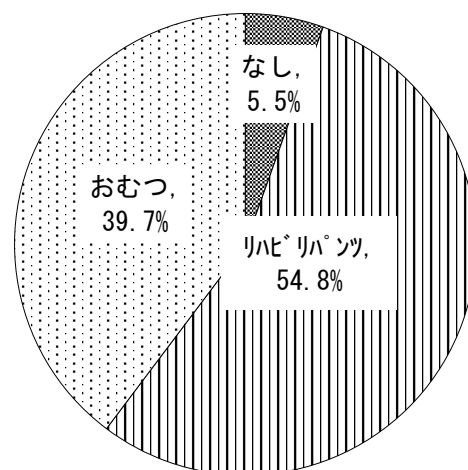
リハパン・おむつ費用は1ヶ月47.5万円平均でした。(R1年度48.1万平均)

納入業者を変更して、価格の見直しを行いました。

対象の入居者数が減少するとともに、使用者数も減少しているため、価格見直しによる費用の減少とは、明確にならないと思われます。

入居者ごとの排泄パターンを再確認しておむつ使用率の減少を目指していくように、努めなければならない。

種類	なし	リハビリパンツ	おむつ
1年度	9人 10.7%	49人 58.3%	26人 31.0%
2年度	4人 5.5%	40人 54.8%	29人 39.7%



おむつ使用状況

⑤ おむつ着用の昼間と夜間の比較

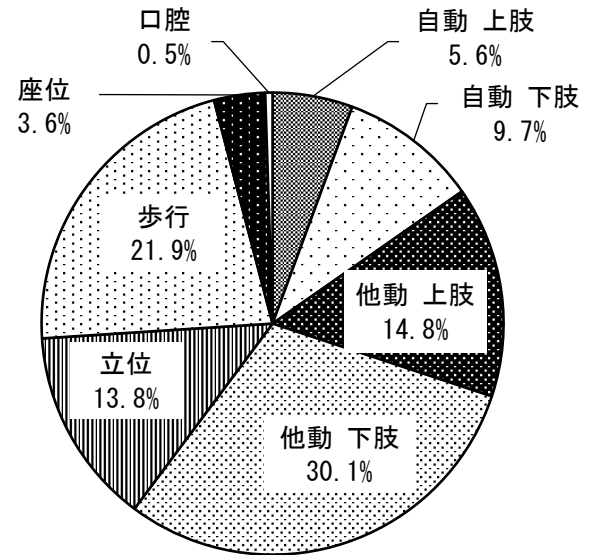
種類	なし	リハビリパンツ	おむつ
昼間	4人 5.5%	40人 54.8%	29人 39.7%
夜間	3人 4.1%	16人 21.9%	54人 74.0%

介護度とADL（日常生活動作）を昨年度と比較した場合、介護度は変化がないにもかかわらず、ADLは低下傾向にある。単純には言えないが、身体機能、状態と介護度に乖離があるように思われる。入院等により身体状況に変化があった入居者へは、介護度の見直しを検討していく必要もあるのではないだろうか。また、逆に身体状況が改善される方もあるだろう。職員は、入居者の日々の生活状況等を把握、観察してより良い介護を目指していくことを考えていく必要がある。

7 リハビリの状況

① リハビリ内容

内 容	2 年度	1 年度
自動運動 上肢	11 人	12 人
自動運動 下肢	19 人	22 人
他動運動 上肢	29 人	30 人
他動運動 下肢	59 人	58 人
立位訓練(手すり、平行棒)	27 人	22 人
歩行練習(平行棒、歩行器、杖)	43 人	60 人
座位保持訓練	7 人	8 人
床からの立ち上がり訓練	1 人	2 人



※ 1人で複数のリハビリ内容を実施している。

※ 自動運動：自らが、手足を動かして関節の屈伸運動、足こぎ車椅子、滑車

※ 他動運動：職員により、関節の屈伸、ストレッチなど、自動足関節運動器

☆ 利用者の身体機能に応じて、3か月間の目標を設定した個別機能訓練計画を作成して、個人差はありますが、目標達成のために、毎日から3回/週のペースで残存機能の向上または維持、及び精神機能の安定に努めている。

☆ 日常生活上（排泄時等の移乗動作）で行える筋力訓練や基本動作訓練なども介護職員と連携し行っている。



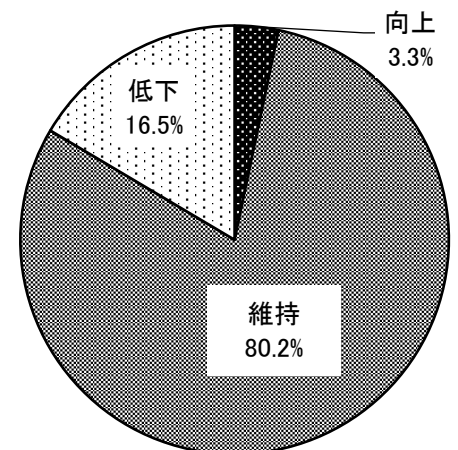
② 評価（結果）

☆ 80%以上の方に身体機能の向上または維持に努めることができていました。

☆ 向上した方は、立位動作が可能となり排泄時等の移乗動作が自立した方、歩行能力の改善により施設内での移動範囲が広がったことで日中の活動性の向上がみられた方等明らかな身体機能の向上がみられました。

☆ 低下された方は、長期間の体調不良や入院された方にみられています。

	2 年度	1 年度
向 上	3 人	5 人
維 持	73 人	85 人
低 下	15 人	13 人



③ 総評

☆ 今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、ご家族の方の面会中止や毎年開催される施設行事が中止になりました。そのため、リハビリの中で入居者同士の交流や屋外への散歩に行く機会を多く作ることで気分転換やリハビリを楽しみの場となるよう実施してきました。また昨年同様日頃のADLを評価し自立支援に向けたリハビリを実施することでQOLやモチベーションの向上に繋がっています。

8 家族等の面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数(人)	0	72	627	547	0	432	630	435	0	0	0	326	3,069
面会可能日数(日)	0	2	30	30	0	20	31	20	0	0	0	14	147
平均(人)	—	36	20.9	18.2	—	21.6	20.3	21.8	—	—	—	23.3	20.9

1日平均20.9人 (R1年度1日平均17.6人 総数6,448人)

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、以下の期間の面会を中止しました。

面会中止期間	中止日数	Youtube 配信	LINE 面会
R2. 2. 24 ~ R2. 5. 29	95日間	18回	
R2. 7. 30 ~ R2. 9. 10	42日間	49回	
R2. 11. 21 ~ R3. 3. 14	113日間		15回
R3. 4. 21 ~			2回

面会中止の長期化を受け、Youtube を利用して入居者の様子を家族限定で配信する取り組みにより、18回、49回の配信を行いました。その後、iPad をコロナ感染症支援補助金で購入させていただき、LINEによるビデオ面会を行いました。

職員、その家族等が感染することなく、日々、入居者の方々との生活が継続できるよう、更なる感染予防に努めてまいります。

9 保険者の状況(※)

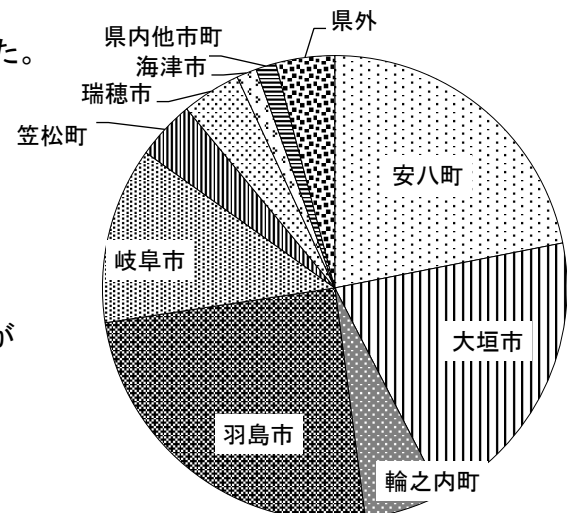
(ユニット型のみ 令和3年3月31日現在)(人)

安八町	大垣市	輪之内町	羽島市	岐阜市
16	15	4	18	9
21.9%	20.5%	5.5%	24.7%	12.3%
笠松町	瑞穂市	海津市	郡上市	県外
3	3	1	1	3
4.1%	4.1%	1.4%	1.4%	4.1%

入居先の地域に大きな変化はありませんでした。

羽島市からの入居が依然と多くなっておりますが、施設東の県道219号線のアクセスを活かして、瑞穂市、海津市(平田町)からの入居者を増やしていければと考えます。

県外の方は、一宮市、名古屋市の方で、家族が近隣市町に住んでいます。



※利用料などの9割分等を支払う市町村

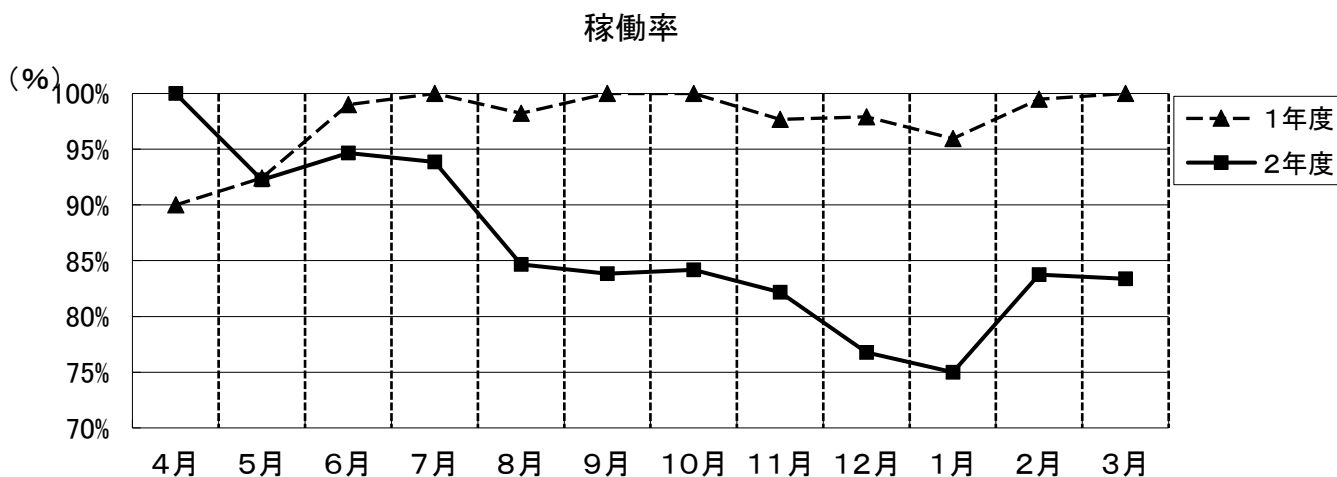
特別養護老人ホームサンライズ長良 事業報告 (地域密着型)

1 入居の状況

	入居者数 (人)			満床人数 (人)	空床数 (人)	延人数 (人)	充足率 (%)
	男性	女性	合計				
4月	2	18	20	600	0	600	100.0
5月	2	18	20	620	0	572	92.3
6月	2	18	20	600	0	568	94.7
7月	2	18	20	620	0	582	93.9
8月	2	18	20	620	0	525	84.7
9月	2	17	19	600	13	503	83.8
10月	2	16	18	620	55	522	84.2
11月	1	15	16	600	85	493	82.2
12月	1	15	16	620	134	476	76.8
1月	1	15	16	620	124	465	75.0
2月	3	15	18	560	63	469	83.8
3月	4	14	18	620	69	517	83.4
合計	24	197	221	7,300	①543	6,292	—
平均	2.0	16.4	18.4	—	45.3人/月	524人/月	③86.2
R1年度	1.8	17.7	19.5	7,300	②179	6,928	④94.6

- ・ 入居者数は、月末日のものです。(定員は20人)
 - ・ 空床数は、退居日から次の入居日までに空きベッドが発生したものです。(人＝日間)
 - ・ 延人数は、入院・外泊等の人数を差引いたもので、充足率は当月に満床であった場合に対するものです。

空床期間が②179日間から①543日間と増加し、充足率は、④94.6%から③86.2%と大きく下がりました。入居がまったくない月が3ヶ月も続いていた。新型コロナウイルスによる影響なのか入居申込の動きが鈍化しているようにも感じられますが、次期入居候補者への案内を早期に実施していくこと、居宅支援事業所等への入居希望者の確認や案内を実施していく必要があると考えます。

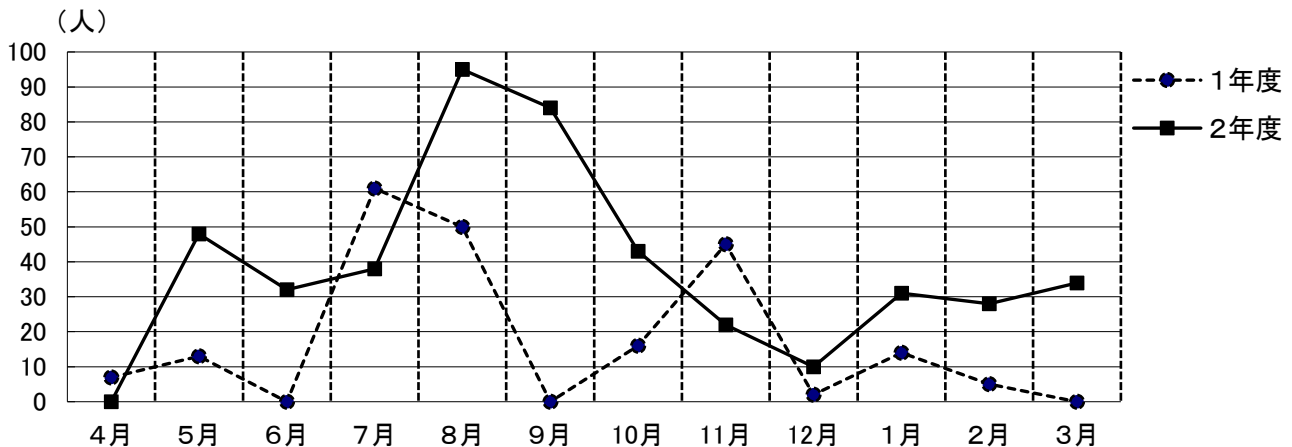


2 入院の状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	0	48	32	38	95	84	43	22	10	31	28	34	465
対象数	1	2	2	2	5	4	3	2	2	1	1	2	—
R1 年度	7	13	0	61	50	0	16	45	2	14	5	0	213

入院延人数グラフ



- ・ 入院延人数は465人、平均入院日数も、39.0日間で、R1年度の213人、16.0日間から大きく増加しました。
- ・ 入院者の増加の一因として、誤嚥性肺炎のリスク、経口摂取の低下等により、胃ろう造設までの期間の長期化が考えられます。長期入院等が想定される場合、いったん退居手続きを行うなど、状況にあった対応が必要と考えます。
- ・ 日々の健康管理の重要性を感じました。

3 入退居の状況

(人)

状況	入居					退居			
	在宅	ユニット	SS	他施設 ※1	医療機関	在宅	他施設 ※1	入院 ※2	死亡 ※3
小計	0	0	0	1	3	0	0	0	6
合計	4					6			
R1 年度	8					6			

※1 特養、グループホーム、老人保健施設など介護保険の施設。

※2 入院時の身体状況により家族からの退居の申出によるものと、入院期間が3ヶ月経過したための退居。

※3 入院中に医療機関で死亡。

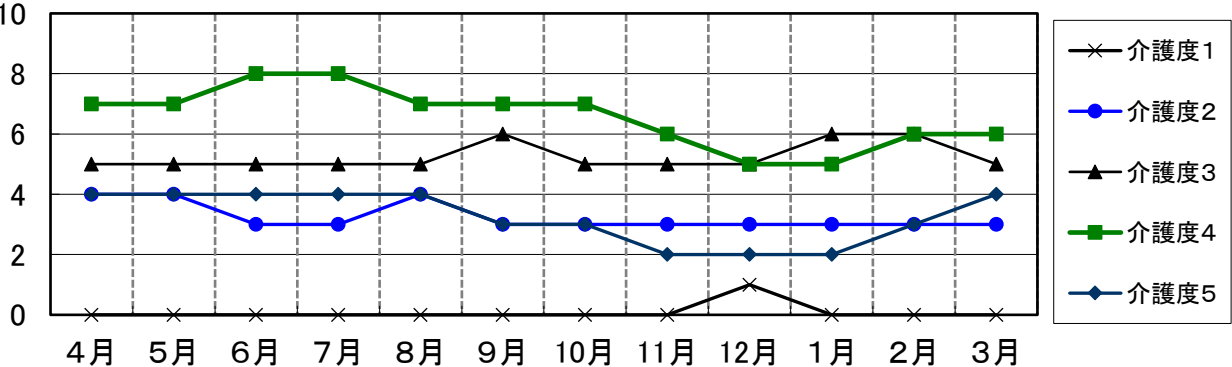
- ・ ユニット同様に、隣地にクリニックがあることで、医療機関からの入居問い合わせが多くあります。
- ・ 在所期間：3年（R1年度は2年7カ月）

4 入居者の介護度

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.5%
介護度2	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	17.6%
介護度3	5	5	5	5	5	6	5	5	5	6	6	5	28.5%
介護度4	7	7	8	8	7	7	7	6	5	5	6	6	35.7%
介護度5	4	4	4	4	4	3	3	2	2	2	3	4	17.6%
平均介護度	3.55	3.55	3.65	3.65	3.55	3.53	3.56	3.44	3.25	3.38	3.50	3.61	3.52
R1年度平均	3.61	3.53	3.55	3.55	3.63	3.60	3.60	3.58	3.58	3.55	3.35	3.55	3.56

(人) 10

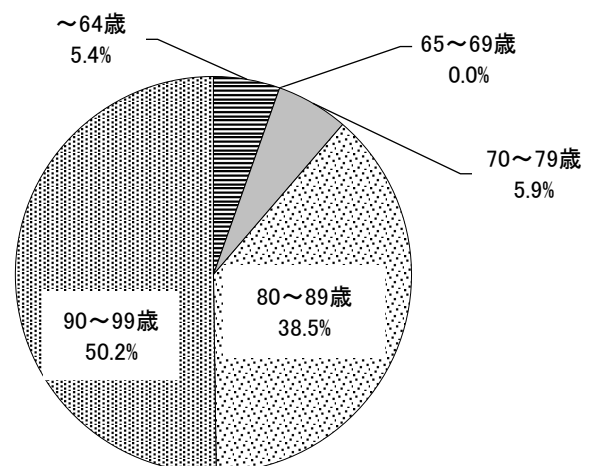


5 入居者の年齢構成

(人)

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	割合
～64	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	5.4%
65～69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0%
70～79	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0.8	5.9%
80～89	8	8	8	8	8	8	7	6	5	5	7	7	9.3	38.5%
90～99	10	10	10	10	10	9	9	8	9	9	9	8	8.4	50.2%
100～	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.0	0.0%
平均年齢	88.3	88.3	88.5	88.5	88.7	88.6	88.7	88.9	89.4	89.6	89.4	88.3	88.8	

- ・ 入居者の平均年齢は88.8歳でした。
(R1年度88.0歳)
- ・ ユニット型は平均87.7歳。
- ・ 80歳以上の方が80%以上を占めました。
- ・ 最高齢は、98歳でした。
- ・ 退居者の平均年齢は、90.0歳でした
(R1年度90.7歳)



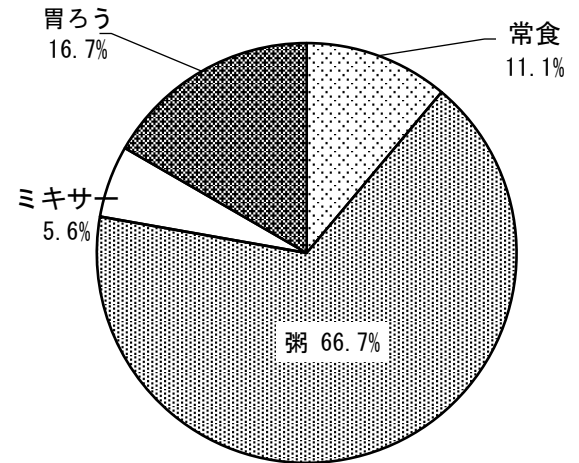
6 入居者のADLグラフ（令和2年3月31日現在）

令和2年度の対象者は18人（令和元年度は20人）

① 食事形態

主食

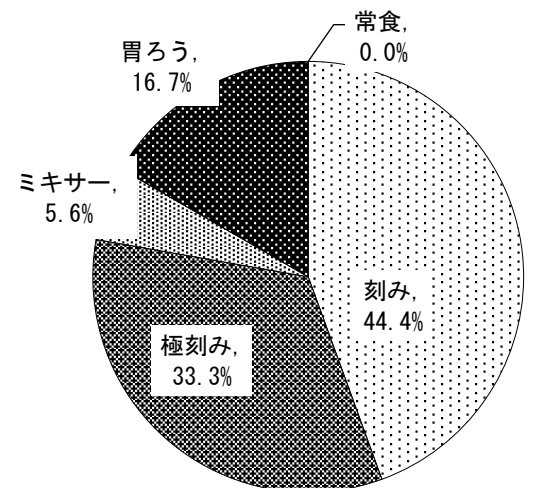
形態	常食	粥（半粥）	ミキサー	胃ろう
1年度	2人 10.0%	14人 70.0%	2人 10.0%	2人 10.0%
2年度	2人 11.1%	12人 66.7%	1人 5.6%	3人 16.7%



食事形態 主食

副食

形態	常食	刻み	極刻み	ミキサー	胃ろう
1年度	0人 0.0%	7人 35.0%	9人 45.0%	2人 10.0%	2人 10.0%
2年度	0人 0.0%	8人 44.4%	6人 33.3%	1人 5.6%	3人 16.7%



食事形態 副食

食事形態に大きな変化はみられませんでした。

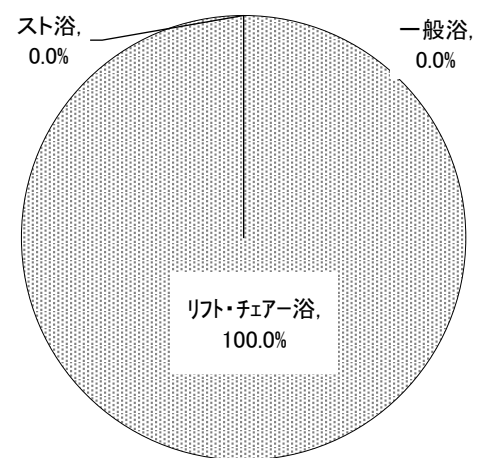
② 入浴の状況

	一般浴	チェア浴	スト浴
1年度	0人 0.0%	20人 100.0%	0人 0.0%
2年度	0人 0.0%	18人 100.0%	0人 0.0%

変化はない結果でした。

チェア浴（機械浴槽）であっても、サンライズ温泉の湯を利用して入浴しております。

「温泉により入浴への楽しみが増え、心身ともに健康になっていただくと喜ばしいと思います。」



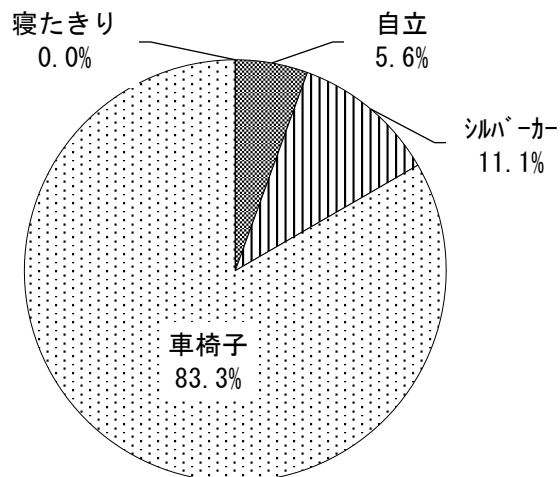
入浴の状況

③ 移動（歩行）の状態

車椅子15人の方の内、8人が自分で車椅子を動かすことが出来なくて、介助の必要な方です。

ユニットと比較して、介助を要する方の割合が多くなっております。

内訳	自立	シルバーカー	車椅子	寝たきり
1年度	0人 0.0%	4人 20.0%	16人 80.0%	0人 0.0%
2年度	1人 5.6%	2人 11.1%	15人 83.3%	0人 0.0%



移動（歩行）の状態

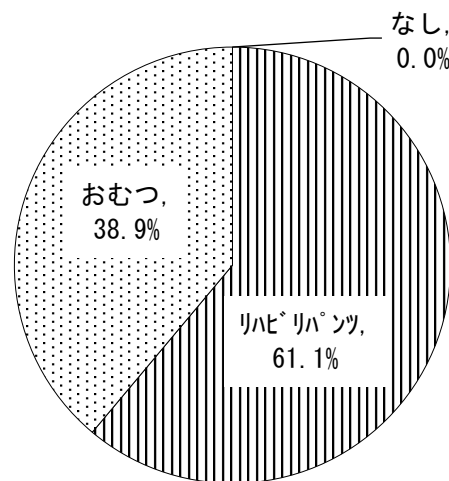
④ おむつ使用状況

リハパン・おむつ費用は、1ヶ月平均13.2万円と増加しました。

(R1年度平均12.5万円)

おむつ等の種類が変わったことで、使用量が増加したと考えられます。使用方法、装着が適切に行われているかを、再確認する必要があると考えます。

種類	なし	リハビリパンツ	おむつ
1年度	0人 0.0%	11人 55.0%	9人 45.0%
2年度	0人 0.0%	11人 61.1%	7人 38.9%



おむつ使用状況

① おむつ着用の昼間と夜間の比較

夜間におむつを使用することで、トイレに何度も起きなくても済み、ゆっくりと寝ることができるからと、あえておむつを選択される入居者もあります。

種類	なし	リハビリパンツ	おむつ
昼間	0人 0.0%	11人 55.0%	9人 45.0%
夜間	0人 0.0%	0人 0.0%	18人 100.0%

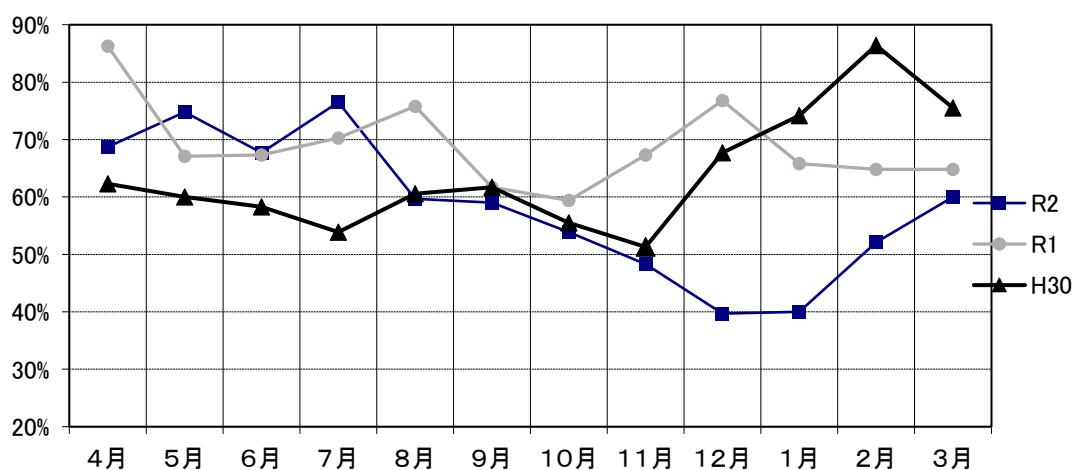
ユニット型と同様で、入居の希望が減少していたとこともあるが、入居に至るまでに時間を要していたことなどから、空床状態が長く続いていた。大部屋により性別の振り分けの問題なども考えられるが、申込者家族等に対して、入居への意思確認を迅速に行い、滞りが発生しないよう図っていく必要がある。

サンライズ長良 ショートステイ 事業報告

1 利用の状況

	延人数 (人)	稼働率 (%)	1日平均 利用者数	平均 介護度	対象者 (人)
4月	206	68.7	6.9	3.42	12
5月	232	74.8	7.5	3.36	14
6月	203	67.7	6.8	3.38	13
7月	237	76.5	7.6	3.08	13
8月	185	59.7	6.0	3.09	11
9月	177	59.0	5.9	3.20	10
10月	167	53.9	5.4	3.22	9
11月	145	48.3	4.8	3.11	9
12月	123	39.7	4.0	3.40	10
1月	124	40.0	4.0	3.57	7
2月	146	52.1	5.2	3.10	10
3月	186	60.0	6.0	3.30	10
合計	2,131	—	—	—	—
平均	—	①58.4	5.8	3.27	10.7
R1年度	2,524	②68.9	6.9	3.49	13.5

稼働率



定員10人における稼働率です。

ショートステイにおいても新型コロナウイルスの影響が出ているように感じます。7月から徐々に減少して、年間稼働率は②68.9%から①58.4%と大きく減少しました。長期利用の3人が、特養へ利用切替（入居）されたあと、新規利用者を増やすことができなかったことも要因と考えます。そのことは、2月に新規の長期利用者2人が増えたことから言えます。

新規利用、定期利用の方々の確保が重要であることがわかるので、空き状況の提供など、居宅事業所と連携を図り、更なる稼働率アップを目指していきます。

2 介護度別の延人数・延日数と平均利用日数

	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計
延人数 (人)	1	15	66	41	5	128
延日数 (日)	3	192	868	978	90	2,131
平均利用日数 (日)	3.0	12.8	13.2	23.9	18.0	16.6
R1 年度利用日数 (日)	1.2	10.6	46.6	21.7	19.9	20.0

平均利用日数とは、1人あたりの利用日数の平均です。

3 利用者の地域

年間平均人数 (人)

	羽島市	安八町	大垣市	輪之内町	瑞穂市
2 年度	12	8	2	3	1
1 年度	19	12	8	3	2

収益事業 事業報告

販売実績

期 間	数 量
令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	8.9 m ³
平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	44.8 m ³

料金算定

基本料金 (1ヶ月)	10m ³ まで	40,000 円
超過料金 (1 m ³ につき) 1,000 円	11m ³ ～	1,000 円

サンライズ温泉 恵の湯 利用状況

利用日：土・日曜日 13:00～20:00

期 間	入湯者数
令和 2 年度	621 人
令和元年度	513 人
平成 30 年度	476 人

- ・ 入居者家族の方々の利用が多くなった。
- ・ 販売量の減少。